

# 都市提携ニュース

第 21 号

1990年 8 月10日発行

豊中・サンマテオ  
姉妹都市協会

事務局 豊中市市長公室  
秘書課858-2010

## THE 18TH ANNUAL ENGLISH SPEECH CONTEST



前列左から、第5位の岸田佳子さん、第3位の澤藤美代子さん、優勝の奥野由加里さん、準優勝の大平晃子さん、第4位の譚 励さん



THE 18TH ANNUAL  
ENGLISH SPEECH CONTEST

第18回  
高校英語弁論大会



奥野由加里さん

優勝 梅花高校  
奥野由加里さん

準優勝 豊中高校  
大平晃子さん



大平晃子さん

豊中・サンマテオ姉妹都市協会主催の高校英語弁論大会は、1月27日午後2時から、中央公民館で開かれました。今回は9校から男子4人、女子23人の計27人が参加、弁論を競いました。

優勝は梅花高校1年生の奥野由加里さん、準優勝は豊中高校1年生の大平晃子さんでした。

奥野さんは「我々は地球を救えるか?」と題し、太陽系の中で最も美しい星・地球を子孫に残すため、世界的規模での地球保護の必要性を強調し、またシャワーの回数を減したり、なるべくわりばしを使わないよう心がけるなど、身のまわりの運動を訴えて弁論を展開しました。

また大平さんは「祖母を通して学んだこと」と題し、一人暮らしのおばあさんが老人性痴呆症になり、その祖母への父・母の介護する姿を通して、老人福祉施設の必要性を訴えました。

特に今回は、「社会福祉」や「アパートメント」「国際交流」など、今日的な問題をテーマにした弁論が数多く見られました。

審査員は、デービッド・ボールドウィン氏(金蘭短期大学教授)、サイモン・ギープ氏(大阪明浄女子短期大学講師)、川合隆子氏(当協会常任理事)、宮城弘善氏(茨木高校教

頭)、住吉保男氏(府教委嘱託外国人児童担当)の5人。

厳正な審査による成績発表のあと、審査員を代表してサイモン・ギープ氏が「年々レベルが高くなっている。出場者全員素晴しかった。弁論の際の姿勢やマイクの使い方なども成績に影響するので、そういう事にも気をつけてほしい」と講評しました。

優勝者および準優勝者は、今年8月20日から1週間の予定で姉妹都市のサンマテオ市に派遣されます。サンマテオ市ではアメリカ人家庭にホームステイをしながら、文化や風俗の違いなど、貴重な体験をするのをはじめ、国際交流につとめます。

入賞者は次のみなさんです。(敬称略)

順位	氏名	学校名	学年
優勝	奥野由加里	梅花高校	1
準優勝	大平晃子	豊中高校	1
3位	澤藤美代子	梅花高校	1
4位	譚 励	少路高校	2
5位	岸田佳子	追手門学院高校	3

## とよなか

### 新名誉会長に林實氏

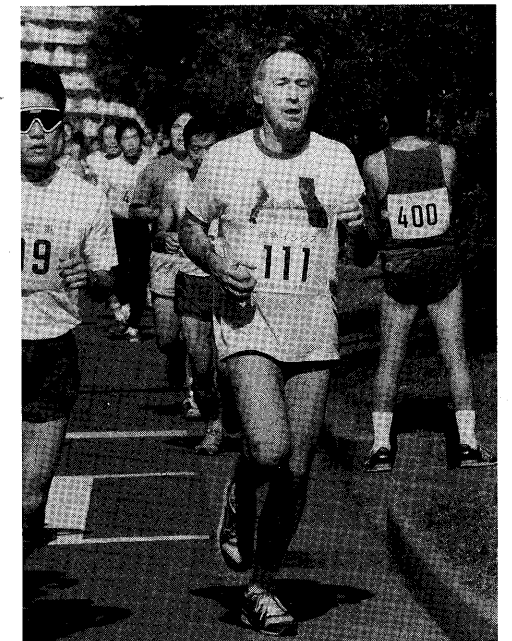
#### 下村名誉会長が退任

昭和49年から、4期16年間にわたって豊中市政を担当してこられた下村輝雄前市長がこの5月に退任され、新市長に前助役の林實氏が就任されました。これにともない、豊中・サンマテオ姉妹都市協会会則第9条に従って、林實市長に当協会の名誉会長に就任していただきました。

下村氏は、自らサンマテオ市を訪問され、友好・親善に尽力されたほか、一昨年の25周年記念事業では、訪問団受け入れに奔走されるなど、両市の交流の促進に大きく寄与されました。

新メンバーは次のとおりです。  
市長 トーマス・マック氏  
副市長 ジェーン・パウエル氏  
議員 ジェーン・ベーカー氏  
議員 ポール・ガンビンジャー氏  
議員 フローレンス・ローズ氏  
トーマス・マック新市長は、獣医師。ジョギングが趣味です。

一昨年、同氏は姉妹都市提携25周年記念事業に参加するため、一行34人とともに来訪。滞在中も、早朝ジョギングは欠かさず、ちょうど開催された千里シティーマラソンにも急拠出場し、見事、千里国際賞を受賞するなど、話題のスポーツマン市長です。



力走するトーマス・マック市長  
(千里ニュータウンで。一昨年10月23日写す)

## サンマテオ

### 新会長にトーマス・ブラディ氏

エド・ブラウン前会長の引退後、空席だった姉妹都市協会の会長にトーマス・ブラディ氏がこのほど就任されました。親善少年野球チームの一員に長男が選ばれ、ブラディ氏も団長として8月に来訪されます。尚、副会長はジョージ・ムサンテ氏、会計はデニス・ライアン氏です。

### 新市長にトーマス・マック氏

サンマテオ市議会は、1989年12月11日に改選を行い、新市長にトーマス・マック氏を選出しました。

#### 英語弁論大会優勝者の奥野さんにインタビュー

まず優勝の感想は?  
まさか優勝できるなんて……。夢を見ているみたいです。  
お友達への反応は?  
月曜日に教室に入るなり、みんなが祝福してくれました。副賞として今夏サンマテオ市に派遣されますが、アメリカでしたいことは?  
アメリカ家庭にホームステイできるということで、今から胸がワクワクしています。日本家庭にはない「生活をエンジョイ、する方法を学んできたいと思います。ショッピングも

楽しみたいなあ。  
奥野さんの英会話勉強法は?  
別に特別なことをやっている訳ではありません。学校での授業はもちろん真面目にやっていますがあとは頭で覚えることよりも、リズムで覚えるように気をつけています。  
将来はどんな仕事を?  
まだまだ先のことで、現実味をおびていませんが、できれば英語を使って活躍できる仕事をしたいと思っています。  
この英語弁論大会に一言  
上位5名ぐらい派遣してもらえたら、もっと参加者も増え、レベルも高くなると思います。



第17回高校英語弁論大会で優勝した城戸敦子さん（当時梅花高校3年生）と準優勝の横山知枝さん（同東豊中高校2年生）が、副賞として昨年8月、サンマテオ市に派遣されました。

二人は、現地で1週間のホームステイを楽しみながら、陽気なアメリカ人の心暖まるもてなしを受けました。ショッピングやピクニック、更には地元の姉妹都市協会の方々が開いてくれたパーティーなど、生涯忘れることのできない貴重な体験をされました。



テ・ルーシー夫妻につれられてピクニック（レッド・ウッズで）

### 城戸敦子さん

今回、親善使節としてサンマテオ市を訪問させて頂き、ありがとうございました。

この様な光栄な大役を受けることができましたのも、そもそも中学校で英語に興味を持ち始め、高校では外国語科へ進み、英語に多く接した結果なのです。が、何といっても高校で交換留学生としてアメリカに行き、その時に得た英会話力とアメリカ人の、特に女性の伸びのびとした、そしてバイタリティに溢れた行動力や知力が私に大きく影響し、現在に結びついたのでと思います。

留学中のアメリカでの生活は、初めの頃、私はアメリカに馴染めず、ホームシックにかかったりしたのですが、陽気で寛大なアメリカ人に接している間に英語を話し、人と会うことを楽しむようになり、アメリカでの生活を本当に楽しく過ごすことができました。

さて、今回サンマテオでは、姉妹都市協会のダーレーさんのお宅でお世話になりました。初めは、戸惑いや不安もありましたが、彼らは、陽気さと寛大な包容力で私を迎え入れてくれました。

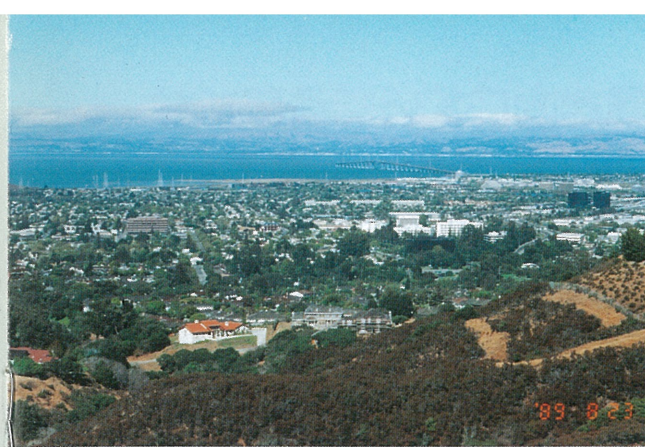
## 私たちのサンマテオ市訪問記

サンマテオに着いた日には、姉妹都市協会の方々に会い、その翌日から皆さんが代わるがわるに私たちを色々な所へ観光に連れて行って下さり、パーティーなども開いてくれました。

滞在の最後の日、お別れのパーティで、私たちは日本料理を作って披露したり、日本のことやアメリカのことなどについて語り合ったりしました。毎晩望遠鏡をのぞいて、天体の話をしてくれた、ホストファーザーのポール。そのポールと私は、最後の夜、地図で日本とアメリカを指さし、私たちはそう遠い所に住んでいるわけじゃないと確認し、再会することを約束しました。ポールは、「君の帰ってくる所はいつでもここにある」と言ってくれました。私は毎年でも彼らの所に帰って行きたい気持ちです。

留学中も含め、アメリカでのこんなに素晴らしい人との出会いや、様々な経験は、私に多くのものを与えてくれました。私は、この経験を生かして、将来へのワンステップに結びつけることができるように、これからも努力したいと思います。そうすることで、私にこんなに素晴らしいチャンスを与えて下さった方々や、私に親切にも色々なことを教えて下さり、私に英語を話すことの楽しさを教えて下さった多くの人人に喜んでもらうことができるものと信じています。

サンマテオでの滞在は、短いようですが、一生忘れることのできない思い出でいっぱいです。



サンマテオ大学からサンフランシスコ湾を望む

### 横山知枝さん

サンマテオに滞在した一週間は、私にとって、一生忘れられない思い出となりました。

8月20日、サンフランシスコ空港に到着した私は、かなり緊張していました。私のホストファミリーはどんな人達なのだろうか、英語は通じるだろうか…そんな不安でいっぱいでした。しかし、迎えに来てくれたエド・ブラウンさん、ポール・ダーレーさんらの優しさに私の不安も一気にふっとんでしまいました。

その日の夜は、ピザ屋さんで食事です。姉妹都市協会の方がたくさん来て、楽しい夕食となりました。ここで早くもカルチャーショックです。とにかく、料理の量が多い！コーラにしる、スパゲティにしる、日本のものとは比べものになりません。

次の日からは、いろんな方に、いろんな所へつれていってもらいました。海を見に行ったり、映画を見に行ったり。特に印象に残っているのは、「サンマテオ カントリー メモリアルパーク」です。野性のリスや鹿も見かけました。ハイキングコースやキャンプ場にもゴミ一つ落ちていないのには感心しました。

今回、「アメリカは、個人主義の国なんだなあ」と、強く感じました。他人にはあまり干渉せず、子供に対しても一人の人間としての人格をちゃんと認めていました。私に対しても、ある範囲内で「好きなようにしていいよ」という感じ。



庭のハンモックにゆられて天の川を観望



# サンマテオ市から ギルプリス夫人来訪

東京で開催中の「インターナショナルヘアショー」に出場するため来日中の、サンマテオ市在住のキミコ・ギルプリスさんが今年4月14日に豊中市役所を表敬訪問しました。

ギルプリスさんは、横浜の出身。夫は米国人。長男のヨシオ君もかつてサンマテオの少年野球チームで活躍し、54年に初めて本市少年野球チームが渡米した際にも、ギルプリスさん宅でホームステイするなど、両市少年野球の交歓にいろいろとお世話いただいています。



表敬訪問したギルプリスさん（左から3人目）

# 今年8月、サンマテオ市から 少年野球親善チームが来訪

8月に、サンマテオ市から少年野球親善チームが来訪します。一行は、少年20人と保護者13人の計33人。少年は市内の家庭でホームステイしながら、豊中市少年野球選抜チームと親善試合を行い、互いに交流を行う予定です。

両市の少年野球チームの交流は、昭和54年夏に豊中市から初めてサンマテオ市を訪問。その後56年と60年にサンマテオ市から、58年と62年には豊中市チームが訪問しており、相互交流は今回で6回目です。

月日	行事予定
8/13	ホストファミリーとの対面式
8/14	市長・議長表敬訪問 第1試合（豊島球場）
8/15	京都観光 第2試合（ナイトゲーム）
8/16	第3試合（豊島球場） パーベキュー歓迎パーティー
8/17	自由行動
8/18	観光
8/19	第4試合、第5試合（豊島球場） さよならパーティー
8/20	大阪国際空港出発



60年に豊中市を訪れ交歓するメンバー（豊島球場で）



# サンフランシスコ大地震 サンマテオの被害は軽微

昨年10月17日、マグニチュード6.9のサンフランシスコ大地震が発生しました。崩壊したベイブリッジ、倒壊した家屋など、テレビや新聞などでつぎつぎと被害の状況が日本でも報道され、関係者を心配させました。

現地の状況を知るため、豊中からサンマテオ市に国際電話をかけましたが不通で、やっと19日に見舞いの電報を打つことができました。

これに対し、サンマテオ市のポール・ガンビ

ンジャー市長（現議員）から、「心配していただき感謝しています。私たちの市は大きな被害をうけませんでした。死者はなく、ケガ人や建物被害もほとんどありません」と、お礼の電報が届き、関係者一同胸をなでおろしました。

たくさんの姉妹都市協会のメンバーから心暖まる問い合せをいただきました。この紙面をお借りしてお礼を申し上げます。



# 豊中青年会議所のメンバーが

## サンマテオ訪問

### サ市の日本庭園に社を寄贈<sup>やしろ</sup>

#### San Mateo City Hall



サンマテオ市役所を訪れたJC一行（中央はローズ議員）

豊中青年会議所の藤原安雄氏らメンバー6人が昨年9月13日から2日間、サンマテオ市を訪問、地元JCのメンバーと交流したり、市役所を訪れてポール・ガンビンジャー市長（現議員）、ジェーン・ベーカー前市長（現議員）らと親しく懇談しました。

また一行は、ベーカー氏の案内で現地にある日本庭園を見学。その際、30数年を経て大きく成長した松などの樹木の中で、古く枯れたミニ社<sup>やしろ</sup>を見て、ベーカー氏に新しい社を贈ることを約束して帰国しました。

帰国した一行は早速有志を募り、高さ約110センチ、総ヒノキ製、銅板葺きのミニ社を購入、船便でサンマテオ市に贈りました。

### レッドウッド市の収入役が来訪

サンマテオ市の南隣にあるレッドウッド市の収入役ラム・チャンダ二氏が夫人と一緒に、昨年10月4日豊中市役所を訪れ、下村前市長を表敬訪問しました。

同氏はサンマテオ市の収入役ジョン・デ・ルーシー氏の親友。「姉妹都市のトヨナカは大変美しい町。ぜひ訪問してみては！」とアドバイスを受け来豊したものです。

二ノ切温水プールや服部緑地、アクア文化ホールなどを見学。「ワンダフル」を連発しながら、熱心に豊中市のことや行政について質問をしていました。

